



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.165 2015年2月14日発行 九州支部長

寒さの中で身を縮こまらせていたら、庭のアジサイもシロモクレンも芽を大きく膨らませ、フキノトウも目立つようになっていました。散歩道にはいつの間にか「卒業花」と呼んでいるアオモジが黄緑の色をつよめ、近所の川での四手網を使ったシロウオ漁もはじまりました。春はそこまできているんですね。

新年早々、イスラム国に拘束されていた湯川さんと後藤さんが最悪の形で世界のひずみの犠牲となり、社会不安が一気に高まっていますが、「憎しみの連鎖」や「報復の連鎖」ひいては「犠牲の連鎖」と「戦争の連鎖」が起こらないように願うばかりです。そのためには私たちには何ができるのかを考えること、これこそが私たちにつきつけられている課題ではないでしょうか。

さて、サーバス九州では年明け早々の訪台プロジェクトを終え、今は「国内会議」と「九州支部春の集い」に向けた準備を行っているところです。

会報 2015年2月号(165号)をお届けします。

受信されましたらご一報いただくと安心します。どうぞよろしくお願いいたします。

掲載している内容は以下の通りです。

- 1 台湾サーバスとの交流 (参加者感想)
- 2 「サーバス国内会議と九州支部春の集い」について
- 3 トラベラー受け入れ状況とミニコメント
- 4 お知らせとお願いくサーバス九州関係>
- 5 サーバス九州現況 (2015年2月14日現在)

1. 台湾サーバスと交流してきました！

概要

実施時期：2015年1月23日(金)～2015年1月27日(火)

日程概略：23日：台湾サーバス会員と夕食・交流会。サーバス宅ステイ。

24日：台湾サーバスメンバーと一緒に専用ミニバスで野柳地質公園と九份観光へ。サーバス宅ステイ。

25日：台北から花蓮へミニバスで移動し、太魯閣(タロコ)大峡谷と花蓮を観光。花蓮ホテル泊

26日：台北・桃園空港近くのホテル泊

参加者：7名(9名参加の予定でしたが、急遽インフルエンザ罹患で2名不参加)

参加者からいただいた感想を紹介します。文面から交流の様子を垣間見ていただければと思います。

台湾旅行 「出発から、ホームステイまで」

I. T.さん

福岡国際空港 10 時集合に間に合うか心配していたが、十分間に合った。そこで、N 夫妻のキャンセルを知る。前夜、奥さんが、急病になられたようだ。

7 人がそろったので出国手続き前に、現地の人への手土産をセットする。O さん、Y さんのハンドメイドの布小袋に各人のキャンデーやチョコをいれていく。31+予備(2)の完成。到着便遅れで出発が、2 時間以上遅れた。台北空港に着くと、夕日が暑かった。空港では台湾サーバスの S さんたちが迎えてくれた。換金してすぐ台北へ移動。国父公園で 5 時の衛兵交替儀式に立ち会った。

6 時から、台湾サーバスメンバーとの交流会。円卓の中華料理で和やかにすすむ。みんなで自分の居住県をアピール。私は宮崎の紹介を日本語で行い、いきなり、T さんに通訳をお願いしました。この場を借りてお礼申し上げます。

交流会が終わりました。さて、ホストは、どの人？ まだ、見えていないようです。見えるまでということで、薄暗いカラオケバーに移動しました。でもまだホストは現れません。途中で、一緒にステイする S さんと台湾サーバスの人に送られて街中を 20 分ぐらい移動しました。すると、1 台の高級車が待っています。若い女性が 下りてきました。その女性が、ホストの G さんでした。車から男性が下りてきました。ハズバンド？と S さんがいうと「父です」と大笑い。家は、10 階の ビルの最上階で、台北 101 のイルミネーションなどが、よく見えます。お父さんが、お茶（中華式）をいれてくれました。名刺交換など交流して 12 時に休みました。

1 月 24 日、九份からの帰り、夜 8 時半、G さんが国父公園に迎えに来てくれました。そのまま家に帰るかと思えば夜景を見に行こう!! と。Hello Kitty のゴンドラに乗って夜景を楽しみました。動物園の上は、真っ暗。2 つめの駅は、神社に参拝する人が降りる駅。道教の社屋が、ライトアップされていました。3 つめの駅で下車。お父さんが迎えてくれた。土曜の夜というので小さい子供たちもたくさんゴンドラに乗り込んでいく。

家に着くと今夜もすぐ、お父さんがお茶を入れてくれた。ぐっすり眠れる茶だということで安心して飲んだ。その後カラオケが始まった。S さんが、テレサテンの話をしたが、通じない。テレサテンという名は知られていないらしい。S さんが、「償い」を歌ったら、すぐわかって、台湾語で歌ってくれた。お母さんは、琴で、知床旅情、台湾の歌、アリランを引いてくれた。

シャワーを済ませて、寝ようというとき、いとこがやってきた。時すでに 12 時！ G さんは、自分のお宝を次々と披露してくれた。中学卒業アルバムは、美術部だったので、作品集になっていた。よい作品ばかり。特技のジャグリング、笠回し、一輪車のりなどもしてくれた。フランス語を学ぶ大学生で、26 歳。彼のことも少し語ってくれた。休んだのは午前 1 時。

1 月 25 日。7 時半出発だったので、それに間に合うように朝食をだしてくれた。2 種類の万頭、サラダ、豆乳様のスープ、つくだ煮風の魚介類、フルーツだ。G さんが、オレンジで、得意のジャグリングをしたので私もやってみた。先ず 2 個でためした。そして 3 個でも成功したので、拍手がもらえた。おじゃみと違ってずっしり重く長くは続けられなかった。

2 泊 3 日の温かいおもてなし。台湾が身近に感じられた。このたびを企画運営していただいたみなさまに、感謝します。

サーバスっていいですね！！

S. H. さん

1 日目の夜、早速歓迎会がありました。九州支部 7 名を含めて 40 名近く集まりました。皆さんと交流しながらもホストが現れないので、I さんとやきもきしました。交流会後、カラオケに行き、ホストに会えたのは 22 時過ぎでした。25 歳の三倉真奈に似ている女学生ホストは

レクサスを運転してきた父親と共に待ち合わせ場所「中山公園」に現れました。暗かったので思わずホストに“Is he your husband?”と聞いてしまい、笑いをとってしまいました。

10階建てマンション最上階2フロアの自宅に招かれました。元女優かと思われるようなスレンダーな母親と二匹の猫に迎えられ、父親に台湾式のお茶を入れて頂きました。0時過ぎ、21歳の弟の部屋で就寝しました。

2日目、母親手作りの朝食を摂り、二人に中山公園に連れて行ってもらい、夜までお別れしました。デイホストと共にマイクロバスに乗り、午前は野柳地質公園、午後は九份に行きました。台湾訪問は二回目ですが、どちらも初めてでした。

地質公園は何千万年に及ぶ風化・浸食作用によって有名な女王の頭のようなキノコ岩や燭台岩、生姜岩などの奇岩が形成されています。そこを風に吹かれての散策は気持ちよかったです。足場の悪い所を台中から来られたマイケルが足の悪い私をエスコートしてくれました。感激しました。私の住む山口県の秋吉台・秋芳洞は姉妹公園になっていました。

前日の歓迎会で秋吉台、秋芳洞を紹介したばかりでした。

九份も一度は行きたいと思っていたので夢が叶いました。土曜日だったので観光客で賑わっていて、私たちは狭い路地をバッグを押さえ、途中で台湾アイスやまんじゅうを食べたりしながら歩きました。「千と千尋の神隠し」の舞台といわれている建物の喫茶にも入って、高い台湾茶を堪能しました。日本統治時代、近くにあった金鉱のために日本人が作った街と聞き、後ろめたい気持ちもしました。後に日本式建築のある場所にも行きましたが、負の歴史も忘れてはいけないと肝に銘じました。

その夜は、ホストに早く迎えられ、猫空ロープウェイに乗って台北の夜景を見せて頂きました。ロープウェイといい、エバー航空といいハローキティの模様にあふれていました。街に猫グッズの看板の店が多く、台湾の人々は猫好きなのかなと思いました。

帰宅後はカラオケでもてなしてくれました。テレサテンの名前は通じませんでしたが、私が彼女の歌を唄うと通じて、母親がテレサの台湾での歌をたくさん唄ってくれました。母親は歌もうまく、台湾琴の演奏も披露してくれました。知床旅情、アリラン、台湾歌でした。

今晩は早く寝られると思っていると、日本語を勉強した19歳の従妹を呼んだりしてベッドに着いたのは深夜1時過ぎでした。

3、4日目は花蓮でした。以前行ったことのあるタロコ峡谷、七星潭海岸での小石拾い、鯉魚潭湖でのサイクリング等は絶対ツアーでは味わえないものでした。

この旅行を計画してくださったOさんやS. Y., 花蓮に同行してくださったJたち、Host familyから歓待してくださった台湾のサーバスメンバー、そして、共に旅した九州サーバスメンバーに感謝、感謝です。人類みな兄弟と思えるようなとても心に残る台湾旅行でした。サーバスっていいですね。サーバスに誘ってくださったKさんに感謝。

思い出いっぱいの旅—台湾

N.N.さん

1月23日、福岡から5日間の旅への出発である。私は友人と二人、トラベラーとして参加した。サーバス会員のOさんの勧めもあり、元来、旅行好きときている私は即座に参加を決めた。2時間余りのフライトは快適で旅の前途を祝福しているかのようだった。

台北に到着すると台湾のメンバーの方々の熱烈的な歓迎を受けた。以前に交流のあった人たちをファーストネームで呼ぶ声かとびかった。私たちは何も心配することがなかった。その夜、忘年会（旧正月前）を兼ねた歓迎レセプションは盛大で、それぞれのテーブルは花が咲いたように賑やかだった。私もつたない英語で自己紹介した。

2日目からは、いよいよ台湾の醍醐味を味わうこととなった。この日は九份行きだ。九份はかねてより私が訪れたい場所であったので、特に楽しみにしていた。ミニバスで隣り合わ

せた若い女の子 F は山中を進むバスに、「今はこんな山中だけど、向こうに着いたら驚くほど、人が多いわよ」と言ったが、土曜日ということもあり、ほんとに人の山であった。

「ここが湯婆一バの屋敷と言われているところですよ」と彼女は教えてくれた。湯婆一バがタバコをふかしながら「今日も大繁盛だねえ」と言っているようであり、千（セン）が「いらっしゃいませ」と、かいがいしく働いているようであった。

次に訪れたのが野柳地質公園（YEHLIU Geopark）の自然奇岩。自然という言葉を超えたような様々な形の岩、岩、岩。私はちょっとふっくらとした燭台岩がユーモラスでもあり、神秘的な感じを受けた。自然とは何と偉大だろうかと、しばらくながめていた。

3 日目、ステイ先のホストたちに見送られて台北から花蓮へ向かった。農村風景を楽しんでいるうちにバスは山中へ。そして目の前に広がったのが、見るものを敬虔な気持ちにさせる大自然。何と威圧的であろうか。太魯閣（タロコ）峡谷である。巨大にそびえ立つ高層ビルを敷き詰めたような岩。その中に、点在する寺院。見るものはそれだけなのだが・・・。すごい！

4 日目、花蓮のホテルで食事を済ませ、鯉魚潭（リーユイタン）へ。周囲 5 km の湖である。ボートにサイクリング、ウォーキング、ジョギング・・・人々が楽しんでいる。

私はサイクリングに挑戦した。何十年ぶりかで乗る自転車。異国の地で爽やかに風を切って走る。先頭を走ってくれたジョアンに必死についていった。心地よい汗を流し、ちょっとした達成感を味わった。亜熱帯の植物が南国情緒を醸し出していた。

台湾を一週間かけて一周した私の友人が言っていた。「台湾は良かったよお」と。私もそう思った。"To see is to believe." "Everything is good." 台湾を満喫した 5 日間であった。

あっ、そうそう。花蓮で、私たちはマッサージに行った。私は底をついた台湾ドルをかき集め、10 分間の一番安いコースのマッサージをお願いした。頭、肩、腰、背中の一部である。日本に戻り、娘と温泉に行った。（別府が近いのでよく行っている）

娘：「お母さん、背中、どこかぶつけた？」

私：「いいえ。どうして？」

娘：「背中、アザだらけ」

私：「マッサージに行った～」（笑い）

あれは我慢してたけど痛かったです。

台湾旅行

Y. K. さん

今回、台湾旅行に参加させていただきました。
私達のホストの奥さまは忙しい方で（単身赴任中）すが、私達をもてなしてくださりととても感謝しました。台湾サーバスの方々のフレンドリーなもてなしにも感謝！
バック旅行では行けない所にもいけて、とても印象に残る旅でした。

サーバスメンバーとの台湾旅行

T. Y. さん

午前 10 時に福岡空港集合。参加者は女性 7 名。

台北まで 2 時間半、あっという間の飛行でした。空港に昨年、由布院での例会に参加された S さん、J さん、Jo さんと Ja さんが待っていてくれました。

Jo と Ja はその時、我が家に 2 泊しましたのでなんか古い友達に会うような気持でした。空港

からマイクロバスで台北の中心街に移動し、国父孫文の生誕 100 年を記念して 1972 年に建てられた国父記念館に行き衛兵交代式を見ました。息の合ったセレモニーは必見です。

その後、交流会の会場へ。30 名程の台湾メンバーが私たちのために集まってきて盛大な会でした。私たち 7 名は 3 つの大きなテーブルにばらばらに座り、周りの人たちと日本語、英語、中国語、筆談で楽しく交流しました。私たちは自分たちの県を英語で説明しました。交流会が終わり何人かの人たちが私たちをカラオケに連れていってくれました。日本人用にたくさんの曲が用意されていて、台湾の人たちも結構日本語の歌を歌っていました。

台湾での 4 泊の旅は S さんたちが企画、手配してくださって本当にお世話になりました。マイクロバスで野柳風景区（波の浸食でできた奇岩の露出した海岸）九份（もともと 9 戸しかなかった小さな集落で交通が不便なため品物を補充する時に毎回 9 セットを買うので九份という名が付いたとか）や花蓮（台湾有数の景勝地、太魯閣溪谷の基地となる町）へ移動。土産物屋や食堂が並んだ賑やかな小径や大自然を楽しみました。

台湾滞在 4 日のうち 2 泊は、O さん、Y さんと一緒に Jo さん 宅でお世話になり、あとの 2 泊はホテルに泊まりました。Jo さんは最初から最後まで私たちに同行してくださり、大変良くして頂きました。台湾メンバーの優しさ、美味しい料理、美しい自然を堪能した 4 日間でした。

支部長の O さん、会計の Y さんいろいろありがとうございました。

台湾旅行の感想

Y.K.さん

台湾サーバスの名称は、もらった名刺をみると、「台湾国際旅遊交換住宿和平促進協会」となっています。読み方はわからなくても意味はつかめます。英語が通じないとき、漢字での筆談によって理解することができます。漢字は日中韓の共通語として大事にしていきたいとつくづく思います。韓国が一時期漢字を使わないとしたのは残念でしたが、近年見直されて、また教育の場に復活してきたとのことです。漢字交じりのハンゲルはわかりやすいと思います。

さて、肝心の台湾旅行ですが、準備段階からその大変さをよく知っているの、今回滞りなく旅行ができたことは本当によかったと思います。台湾サーバスの責任者と支部長の何回にも及ぶメールのやりとり、電話（もちろん英語で）、できるだけ安くあげようという執念には脱帽です。おかげで一般の旅行の半額ぐらいでできました。

交流会には、当初の予定をはるかに越えた 30 名も台湾サーバスのメンバーが集まってきて、スモールプレゼントを用意するのに嬉しい悲鳴でした。九州サーバスとの交流を成功させたいとの思いは、翌日の観光（野柳公園・九份）にも多くのメンバーが付きあってくれたことにも表れています。また、中崎さんの代わりに 3 日目以降の観光につきあってくれた Jo さんと T さんにも感謝の念でいっぱいです。

いつの日か台湾のメンバーを歓待しなければと思います。

訪台プロジェクト終了！

O.T.

昨年 4 月に九州支部会議で韓国以外のアジアの国とも交流したい、という要望が出て、それをどういう形で行うか思案してきました。

計画が一気に具体化したのは九月末の湯布院例会に韓国サーバスのメンバーとともに台湾サーバスから 4 名のメンバーをお迎えしてからです。

例会の中で台湾メンバーに話を切り出したら4人とも私たちの訪問を大歓迎とのこと。その場で、日程とコンタクトを取る相手が決まりました。気のいいSさんが自分にまかせてくれていい、台湾会長とも連絡をとりながらやるからと言ってくれ、旅行プランができていきました。

「参加希望5名以上で実施」の線で九州サーバスメンバーに広報し、参加者を募りました。5名になった時点で航空券の手配を開始し、9名の参加が確定しました。それから先方とメール、電話（SKYPE電話で料金が助かりました～）で交信。

当初のこちらの予定は①到着日と最終日はホテル泊（手配は当方で）、②2日目と3日目をホームステイ。③2日目か3日目のどこかでホスト以外のサーバスメンバーと会食・交流ができる機会があれば幸い。ホテルの手配、見物先への移動等を含めて自分たちで行うので大丈夫、という方針を何回となく伝えましたが、「ちょっと待って」の返事。

その間、先方では訪日メンバーを中心に私たちの旅行計画をたててもらっていた模様です。「大丈夫、大丈夫、ちょっと待って」というので待っていましたら、最終的に向こうの旅行社を使ったオーダーメイドのパッケージツアーができていました。好意に感謝してその案にのことにし、今回の旅となりました。

台湾サーバスメンバーの「おもてなし」にどっぷりつかって、「サーバス九州台湾観光と交流の旅」を遂行できたと思います。初日の交流会に30数名が参加し、翌日の九份ツアーにも8名が同行、2名が花蓮にも付き合ってくれました。おかげで非常に楽しい台湾への旅になりました。これはきっと台湾からのトラベラーを九州サーバスの皆さんが温かくお迎えしていただいた結果を私たちが代表して享受させていただいたのだと思います。ありがとうございました！

最後に、今回の私の収穫の第一はマンボーを初めて食したこと、第二は参加者全員がスマホを駆使している感じの台湾メンバーから移動中のミニバスの中で相手のスマホからwifi環境になくてもwifiに接続をさせてもらう方法を習ったことです。恥ずかしながらマンボーが食べる魚だとは思ってもいなかったし、テザリングを使えば外国からのお客さんにwifiをシェアしてあげられることなども知りませんでした！ 今後活用できそうです。

みなさま、今回もお世話になりました～！ いろいろ、ありがとうございました！！

2. 国内会議・九州支部「春の集い」が近づいてきました

下記の要領で実施します。支部のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。はがきでも個別に案内を差し上げます。どうぞご参加ください。

2015年日本サーバス国内会議と九州支部春の集い

日本サーバス国内会議

期日：2015年3月14日(土) 13:00～3月15日(日) 12:00 (14時から九州支部会議)

日程等：

1日目：受付：12:40

会議：13:00～17:00

懇親会：17:30～19:30 (費用については後記)

場所：福岡リーセントホテル

〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎2-52-1 TEL 092-641-7741 FAX 092-641-5851

(福岡空港または博多駅から「姪浜・西新方面」(Meinohama・Nishijin)に乗りし2つ目の「中洲川端駅」(Nakasukawabata)で下車。貝塚方面行きに乗り換え、4つ目の「箱崎宮前駅」で下車。箱崎宮前駅「3番出口」から徒歩2分程でホテル到着。(乗車時間約12分/徒歩約3分)このホテルには宿泊も可能です。共済組合員の方は割引、宿泊補助券も利用できます。各自でお申し込みください。

2日目：会議：9:00～12:00 (前日と場所が異なります)

場所：西南大学コミュニティセンター会議室

〒814-8511福岡市早良区西新3丁目13番1号

(地下鉄：ホテルからだ近く地下鉄箱崎宮前から4つ目の中洲川端で乗り換えて姪浜方面に乗り、5つ目の西新駅で降りる。3番出口から徒歩5分)

駅、空港からは乗り換えなし。西新駅下車。3番出口から徒歩5分(西新nishijin)

* ショートタイムオプションツアー (国内会議終了と九州支部春の集いまでの間に実施)

参加費：無料 (国内会議には会員はだれでも参加できます！)

懇親会費用：お1人4,000円(飲み物別) ソフトドリンク派500円 アルコール派1,000円

九州支部の会員もこちらにご参加いただき、他支部の方との交流をお楽しみください。
。参加申し込み：支部長あてに

①お名前 ②支部名 ③懇親会参加の有無 ④ショートオプションツアー参加の有無をお知らせください。ご都合のいい方法でお知らせください。

(欠席の場合もお知らせいただくと状況が把握できて助かります)

ショートタイムオプションツアーについて：

2日目の会場・西南学院大学は蒙古襲来の地の近くにあり、当時の遺物である防塁も多数散見されます。「元寇公園」も近くにあります。せっかくなので、タクシーで「元寇公園を訪れてはどうかと企画しています。(説明は元ガイドの会員)

宿泊手配：各自でお願いします。

また、国内会議時、いろいろなヘルプをお願いすると思います。よろしくをお願いします。

2日目午後は引き続き西南大学コミュニティセンター会議室で
九州支部「春の集い」：14時～16時30分

2014年の活動の振り返りと2015年の活動計画、決算・予算の
審議、その他の意見・体験交流を行います。新しくご入会いた
だいた方、ぜひ、お出かけください。顔見知りになりましょう。

*2日間参加されても、1日だけでも構いません。どうぞ！

3. トラベラー受け入れ報告

年末の受け入れ報告を集計してみました。トラベラーの数はもっと多いのではないかと思うのですが、残念ながら報告がなくて集計に入っていません。

受け入れていただいたホストの皆さま、ありがとうございました。今年もいろんな国や地域からお見えになるといいですね。『家に居ながらにして、草の根の国際交流』ができるのですから。「おもてなし」や「言葉の壁」を気にすると受け入れが重くなります。ありのままの生活を見せ合い、パーソン to パーソンを大事にして普段着の交流をお楽しみください。

2014 年活動報告

国・地域	人数	トラベラー名
Australia	2	
Bergium	2	
France	2	
Germany	4	
Italy	4	
Italy	3	
Korea	2	
Korea	1	
Korea	2	
Korea	4	
Korea	2	
Korea	2	
Korea	4	
Korea	2	
Netherland	2	
Taiwan	2	
Taiwan	2	
USA	1	
	計43	

<< 「受け入れ一言コメント」の一部を掲載します >>

◆日本の事が大好きなお二人で、日本の色々な観光地に行かれた事や原爆資料館の展示を見て平和について話したり、フランスやドイツやイタリアのお二人の家の事や料理の事を聞いて、とても楽しい時間を過ごしました。(W.M)

◆有田陶器市、吉野ヶ里に御一緒しました。カフェオレが大好きだったこと、歯間ブラシの GUM5 をさがしまわりました。(H.S)

◆台風接近で次の旅行地屋久島には行けなかったと連絡がありました。回転寿司が気に入っていました。(H.S)

◆近くにある陶芸村へご案内しました。我が家には自動車がないので、三人とも自転車で出かけました。お二人にとってサイクリングは久しぶりということで、大変喜んでいらっしゃいました。(N.M)

◆歌が好きで、一緒にカラオケボックスに行きましたが満室で入れず残念。
もう一人はおしゃれな方であの大きなスーツケースには衣装が一杯だったと思う。漢字の筆談で十分分かり合えました。

◆ ホームステイされた間で私の仕事休みの日が1日しかなかったので、その1日は何をしたいか尋ねたところ、ジーさんは有田焼や波佐見焼きを見てみたいと言われました。
ア君は中学校に行きたいと言われ、別行動を取られました。
そこでサーバスメンバーの協力の元、ジーさんは無事に焼き物の窯元見物や買い物をされ、ア君は私の家の近くの中学校に行く事ができました。ア君はもうすぐで14歳になるというイケメン君で、中学校の生徒が芸能人が来たようにキヤーキヤー言って集まり、一生懸命に喋って生きた国際交流をしていたのが印象的でした。

初めてのホームステイ受け入れでしたがとても楽しい経験をさせていただきました。
これもサーバスのおかげです。(S.S)

◆湯布院の九州例会の参加から、ごいっしょさせていただき、高千穂へのご案内して、矢部の通潤橋、霊台橋などを見学して我が家に1泊していただきました。湯布院での交流もあって、とても親しみをもって接することができ、8歳の息子も79歳のおばあちゃんも大歓迎で楽しく過ごせました。私たちは、まだ、韓国を訪れたことはないのですが、こうしてサーバスのご縁で親しくさせていただくと、遠い親戚のような気持ちになってしまいます。
いつの日か、韓国への旅を楽しみたいと夢見ております。(N.K)

◆同行された 女性2人は近所の会員宅に2泊3泊されました。
トラベラー4人とともに青島、鶴土神宮、飢肥城へ観光に出かけ、楽しい交流ができました。
二日目の夕方は上記の会員さん宅に招かれ、台湾の4人、会員の友人、も入れて合計9人の楽しい夕食・交流となりました。(N.S)

◆島原半島を案内しました。一泊されました。とても気さくな方で、意気投合し、秋と一緒に旅行しました。(N.T)

◆ 大人同志の異文化交流は「面白い！」の一言です。お酒を飲みながら、同時代に生きる者として人生を語り合うことで、日本人と異なりストレートな物言いに発見があり、刺激がありますね。今年も熊本弁の「でくるしこ」の精神で受け入れていきたいと思っています。(T.H)

4. お知らせとお願い (日本サーバス&サーバス九州)

サーバスの会費は年度当初(1月)にその年度分の会費を納入していただくことになっていきます。2015年会費の送金がお済でない方はなるべく早くご送金ください。

納入先(郵便局口座番号)はこのメールの最後に記しています。よろしくお願ひします。
尚、会計に対する質問もそちらに願ひします。

5. サーバス九州現況 (2015年2月14日現在)

新入会:

N.Yさん: 福岡県古賀市にお住いのOLの方です。

Y.K.さん：大分県別府市にお住まいです。昨秋の湯布院例会、訪台プロジェクトにも参加していただきました。

N.N.さん：大分県日出町にお住まいです。Y.K.と同じく昨秋の湯布院例会、訪台プロジェクトにご参加いただきました。

後、鹿児島県のF.S.さんが入会希望中です。

退会：S.S.さん：学生さんでしたが、ご都合が悪くなられ、退会です。

会員数 55 家族

<内訳：大分 14、熊本 6、佐賀 4、長崎 8、福岡 13、宮崎 10>